平成30年第2回　千葉市選挙管理委員会定例会会議録

<table>
<tr><td>1　日　　時</td><td colspan="6">平成30年2月15日（木）　午前10時～午前10時35分</td></tr>
<tr><td>2　場　　所</td><td colspan="6">選挙管理委員会室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3　出 席 委 員</td><td>委員長</td><td>山本　宏行</td><td>委員</td><td>伊藤　晶</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>委員</td><td>千葉　通子</td><td>委員</td><td>松戸　敏雄</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4　出 席 書 記</td><td>事務局長</td><td>原　誠司</td><td>次　長</td><td>舩越　俊雄</td><td>次長補佐</td><td>清水　公嘉</td></tr>
<tr><td>主査</td><td>宮本　道夫</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">5　議　　題</td><td>報告第3号</td><td colspan="5">平成29年度明るい選挙啓発書き初めの入賞者について</td></tr>
<tr><td>報告第4号</td><td colspan="5">平成29年度小学校模擬選挙等の実施結果について</td></tr>
<tr><td>報告第5号</td><td colspan="5">第48回衆議院議員総選挙に係る被表彰者の決定について</td></tr>
<tr><td>6　議事の概要</td><td colspan="6">（1）前回会議録の審査
第1回定例会の会議録を案のとおり承認した。
（2）議題
報告第3号　平成29年度明るい選挙啓発書き初めの入賞者について
（報告第3号については、異議なく、原案のとおり承認された。）
報告第4号　平成29年度小学校模擬選挙等の実施結果について
（報告第4号については、異議なく、原案のとおり承認された。）
報告第5号　第48回衆議院議員総選挙に係る被表彰者の決定について
（報告第5号については、異議なく、原案のとおり承認された。）
（3）その他
①選挙に関連する報道等について
市川市長選挙・市議選補欠選挙における再開披の結果の公式発表及び滋賀県甲賀市選管における平成29年衆議院議員総選挙の開票不正処理に関連する新聞報道について、報告した。
②次回委員会について
次回、第3回定例会は、3月23日（金）午前10時から開催
4月の第4回定例会は、4月13日（金）午後4時30分から開催することで決定した。</td></tr>
<tr><td>7　会 議 経 過</td><td colspan="6">（要約）
その他について
報告第3号について
松戸委員　「中学校の応募者が少ないが、応募状況はどのようになっているのか。」
事務局　「学校単位で選挙啓発の書き初めの募集について案内され、集めていただいた中学校と個人的に応募された生徒による応募状況となっている。」
千葉委員　「年々、作品のレベルが高くなっている。」
事務局　「書道塾に通われている児童・生徒の応募者が多いと思われる。」

報告第4号について
事務局　「毎年、千葉県弁護士会の協力により実施しているが、今回の小学校模擬選挙では32校の応募があり、そのうち半数の16校で実施したところである。</td></tr>
</table>

	また、園生小学校と新宿小学校の模擬選挙では、立候補者役を先生が行う形で市独自で試行的に実施したところである。高校生等の出前授業では、新たな取組みとして千葉東税務署と連携し、3校で実施した。今後も、様々な機関との連携について検討していきたい。」 伊藤委員　「定時制の千葉商業高校と通信制の明聖高校では、有権者数と投票者数の差があるが、当日に欠席された生徒が多かったということか。」 事務局　「仕事をされながら、通学している生徒が多いことから欠席者が多かったと考えられる。」 千葉委員　「試行的に実施した園生小と新宿小は、先生方に参考になったと思われる。」 事務局　「来年度に向けて、反省点や改善点について検討していく。」 山本委員長　「新宿小の立候補役の先生は、6年生の先生が対応したのか。」 事務局　「6年生の担任の先生が立候補役を行った。」 山本委員長　「新宿小は、6年生のみ対象で実施したのか。」 事務局　「新宿小は、児童数が多いため、6年生のみ新宿中の校庭内に分校舎があり、5年生と6年生が校舎で分かれていることから合同での実施ができないため、6年生のみ対象として実施した。」 その他 ①選挙に関連する報道等について 伊藤委員　「市川市長選挙の今後の日程は、どのようになるのか。」 事務局　「異議申立てについては、速やかに審査しなければならないことから今月中には裁決されると思われる。また、裁決に不服がある場合は、3週間以内に千葉県選管に審査を申し立てることができる。なお、千葉県選管へ審査の申立てがなかった場合は、市川市選管が再度、市長選挙の日程を決定することとなるが、早くても4月に執行予定と思われる。」 千葉委員　「市長不在の期間が長期化すると、重要な事業を決定できないことから市政への影響が大きくなる。」 松戸委員　「甲賀市選管の白票水増し事件の報道は、考えられない事態である。」 事務局　「町の合併や市議会議員選挙と同日選挙により投票箱が400箱もあったこと、さらには台風の防災対策で開票事務従事者の削減など様々な要因が選管事務局にとって大きなプレッシャーとなっていたことが原因と考えられる。」 千葉委員　「空になった投票箱の点検が不十分だったのではないか。」 事務局　「新聞記事では、票数が合わない段階で再度、投票箱を確認したと報道されている。投票箱を保管していた部屋から開披台へ移動する際に失念した可能性が考えられるが、票数が合わない場合、十分な再確認を行うべきであった。」 千葉委員　「最近、マスコミなどが開票結果について、急がせる傾向があるとの一部報道があるが、それも影響しているのではないか。」 事務局　「様々な要因があったにしても、法令を遵守すべきであった。」 千葉委員　「開票の確定が遅くなっても、十分な再確認を行うべきであった。」 伊藤委員　「もし、本市で開票事務で票数が合わない事案が発生した場合、関係者を待たせても再確認を徹底すべきであると考える。」 事務局　「今後、統一地方選挙が控えているので、各区選管とも情報共有を図り、しっかり取り組んでいきたい。」